1.　２１馬力トラクタ（クボタ）

基準線を設定すれば、次の工程から GS（Go Straight）操作レバーを「ON」にするだけで、基準線に対して平行走行を自動的に行う、直進アシスト機能付き。耕運機、草刈機、畝立て機などを装着して作業。直進アシスト（GS）機能付なので、誰でも簡単にキレイな直線が引ける小型トラクタ。

2.　４５馬力トラクタ（クボタ）

基準線を設定すれば、GS（Go Straight）操作レバー（または GS 操作スイッチ）を「ON」にするだけで、基準線に対して平行走行を自動的に行う、直進アシスト機能付き。ファームダンプ、トレーラーの運搬、堆肥散布、圃場の耕耘など様々な作業で活躍する中型トラクタ。キャビン（ガラスで囲まれた運転席）付きなので寒くても、暑くても安心。

3.　無人トラクタ（クボタ）

トラクタに乗車せず外部からタブレットによる遠隔操作が可能。１つの圃場の９割を自動運転（無人）作業可能。衛星測位システムから受信する位置情報と地方自治体・JA などが設置する基地局から受信する補正情報により高精度で特定され、誤差は数センチ以内。レーザーや超音波ソナーで障害物を検知した場合、自動停止。有人トラクタと無人トラクタとの併用で作業効率アップ。１００馬力の大型トラクタ。馬鈴薯、甘藷の収穫、耕耘作業などで活躍が期待されます。

4.　トラクタ（ニューホランド）

100 馬力。特徴は自動操舵機能がある点と ISO BUS により作業機とトラクタが自動で通信を行い、高度な作業をすることができる点にあります。主に牧草の収穫作業や草地造成などに利用し、効率的な作業が期待されます。

5.　オフセットシュレッダー（FERRI）

草や小さな木などを破砕する機械。

油圧制御により、カッティングヘッド部分に角度を付けて作動させることができ、 路肩や水路の土手に沿った作業に最適です。90°(垂直)から、マイナス 60° までの作動範囲があり、 設定の幅が広く、農業および緑地保守管理上のほとんどの場面に対応でき、樹木の枝掃い作業にも使用できます。（日本ニューホランド株式会社 HP より引用）

6.　モアコンディショナー（Vicon）

牧草を刈り取る機械。

コンディショニング機能により、刈り取りと同時に牧草に傷をつけ、牧草の予乾を促進することができます。また、スプレッダ機能により刈り取りと同時に草を広げるため、その後の拡草作業（テッター）を省略することが可能であり、効率化と省力化が期待されます。

7.　ツインレーキ（タカキタ）

牧草を集める機械。

8.　ロールベーラー（タカキタ）

　刈り取って予乾させた牧草をピックアップしてロール状に結束する機械。

　カッティング機能により牧草を裁断しながら梱包することができ、さらに芯巻きタイプであることから高密度にできるため、品質の高いロールベールサイレージの生産が期待されます。

9.　ラップマシン（タカキタ）

牧草ロールベールをラッピングする機械。
リモコンで操作できるため、ロールを乗せる作業者（ホイールローダー運転者）１名のみで作業することが可能となります。

10.　ブームスプレーヤー（GASPARDO）

広大な圃場に農薬を効率よく散布して、作物の生育に悪影響を与える病害虫の防除や除草剤の散布に用いられる機械。

11.　ロータリーハロー（MASCHIO）＋コンパクトシーダー(KUHN)

ロータリーハロー＝土を砕く機械、コンパクトシーダー＝種子散布機。

これらの機器を組み合わせて利用することで耕起／整地作業と播種作業を１工程で行なうことができ、作業時間の短縮につながります。

12.　ケンブリッジローラー（DAL･BO）

土壌を鎮圧する機械

【生長抑制効果】

昔から言う麦踏み効果です。茎葉に刺激を与えることで、植物ホルモンである体内エチレンが増加し、小麦などのイネ科草、マメ科草では 茎葉伸長の抑制を行い、過繁茂による徒長、倒伏防止、より強い作物を育てます。

【鎮圧効果】

播種前：ロータリーやハローなどで膨軟化した圃場を締めることでより正確で均一な播種深度が得られます。

播種後：種子の周りの土壌の乾燥を防ぎ、発芽に最適な環境をもたらします。

【整地効果】

圃場表層土の流出を防ぎ、より均一な乾燥を促進。 大小のリングローラーが適度に砕土、鎮圧を行い、圃場の起伏に合わせて整地を行います。（日本ニューホランド株式会社　ＨＰから引用）

13.　サブソイラー（松山）

心土破砕を行う機械。

ナイフ後端に装備された弾丸により簡易的な暗渠を施工することができます。心土に亀裂が入り、透水性、排水性が改善されることで圃場が乾きやすくなり、多雨による湿害を回避することが可能になります。（松山株式会社　ＨＰから引用）

14.　ワイドスプレッダー（Vicon）

肥料や土壌改良剤を散布する機械。

ホッパー内の肥料残量／散布量を計測しながら車速に連動して作業する。目標とする散布量を実現するためホッパー下部のシャッターが自動開閉する。（株式会社ビコンジャパンの HP より引用）

15.　低床トレーラー（IHI アグリテック）

荷台部分の高さを低くしたトレーラー。
牧草の運搬などに利用します。

16.　ポテトハーベスター（サンエイ工業）

収穫時に選別を行い作業の効率化に貢献する。

17.　農業用ドローン（XAG）

圃場をマッピングして圃場の境界線、植物の密度、生長状態を自動的に識別し、指定されたエリアに必要な農薬の使用量を計算するシステム、液体散布制御システム、及び粒状散布制御システムの 3 つの異なるシステムを切り替えることができる。

18.　色彩選別機（山本製作所）

大豆、玄米、白米などの良品、不良品を色彩によって選別する機械。